※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０３

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 B	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「数学 B　Advanced 」　（東京書籍）						
副教材等	「Advanced Buddy　PRIME 数学Ⅱ+B」（東京書籍） 「チャート式解法と演習 数学Ⅱ+B+C」　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業用ノートと問題集用のノートを用意してください。
・問題集は,問題集の答えを見ずに自分なりの答えを出しましょう。解答には途中式や図,考え方も書き,解き終わったら各自で答え合わせをし,間違った問題はなぜ間違えたのか原因をつきとめ,間違い直しをしましょう。
・家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。学校で習った内容はその日のうちに理解しようとし，疑問点は早めに先生に質問し，テスト前に焦らないためにも計画的に問題集に取り組みましょう。
・授業中のノートについては,板書を書き写すだけでは,評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
・学習した内容が日常生活のどのような場面で使われているかを調べたり、考えたりすることで、今後活用していけるように意識しましょう。
・高校数学では、答えだけではなく、答えに至る過程の説明が重要になってきます。読み手を意識した解答を記述できるように日々意識して学習しましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数列,統計的な推測について理解し，基礎的な知識と技能を習得する。
(2) 事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識する。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数列,統計的な推測についての基本的な概念や原理・原則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し,事象を数学的に表現し考察する力,確率分布や標本分布の性質に着目し,母集団の傾向を推測し判断したり,標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力,日常の事象や社会の事象を数学化し,問題を解決したり解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり,粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり,評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１章　数列	第１節　等差数列と等比数列 １ 数列と一般項 ２ 等差数列 ３ 等差数列の和 ４ 等比数列 ５ 等比数列の和	a:等差数列の公差,一般項などを理解している。また、等比数列の公比,一般項などを理解している。 b:等差数列や等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 c:複利計算に興味・関心をもち,具体的な問題に取り組もうとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート
		第２節　いろいろな数列 ６ 和の記号Σ ７ 階差数列 ８ いろいろな数列の和	a:階差数列を利用して,もとの数列の一般項が求められる。 b:群数列を理解し,ある特定の群に属する数の和が求められる。 c: 自然数の和の公式を用いて自然数の２乗の和の公式が導けることに興味をもち,自然数の３乗の和の公式を導こうとする。また,さらに高い次数の累乗の和の公式についても考察しようとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期		第3節　漸化式と数学的帰納法 9　漸化式 10 数学的帰納法	a:数学的帰納法を用いて等式,不等式,自然数に関する命題を証明できる。 b:複雑な漸化式を,おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 c: 具体的な事象の考察に,漸化式を積極的に活用しようとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート
	第2章　統計的な推測	第１節　確率分布 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値と分散 3 確率変数の和と積 4 二項分布 5 正規分布	a:確率密度関数や分布曲線の定義を理解し,連続型確率変数について,確率を求めることができる。 b:確率変数の期待値,分散,標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 c:二項分布に興味・関心をもち,さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート
3学期		第２節　統計的な推測 6 母集団と標本 7 標本平均の分布 8 推定 9 仮説検定	a:母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 b:推定や信頼区間の考え方がわかる。 c:仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち,現実の問題の解決に役立てようとする。	確認テスト レポート 定期考査	提出ノート レポート 定期考査	観察 提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度